

議 長	副議長	事務局長	書 記
			



政務活動費実績報告書

令和 7 年 8 月 20 日

富谷市議会議長 金子 透 殿

会 派 名 開誠会
代表者氏名 畑山和晴
議 員 名



下記のとおり政務活動費を使用したので富谷市議会政務活動費運用指針の規定により、次のとおり報告します。

記

使 途	■調査研究費 □研修費 □広聴費 □要請・陳情活動
実 施 期 間	令和 7 年 7 月 6 日 (日) ～令和 7 年 7 月 8 日 (火)
実 施 場 所	1 北海道網走市役所 7 月 7 日 10:00～11:30 〒 093-8555 北海道網走市南 5 条 1 丁目 10 Tel 0152-44-6111 2 北海道根室市立花咲港小学校 7 月 8 日 9:30～11:00 〒 087-0032 北海道根室市花咲港 209 Tel 0153-25-8859
出席 (参加) 者名	畑山 和晴
実施 (調査) 成果	※別紙のとおり
行 程	(計画と変更がある場合記載) ※別紙 変更なし

※各欄に記載できない場合、別紙添付により提出も可能。



政務調査報告書

会派名 開誠会

【日 時】令和7年7月7日(月) 10:00~11:30

【調査内容】北海道網走市
「農産物について」

【対応者】網走市議会 議長 松浦 敏司 様
農林水産部 農林課長 古田 孝仁 様
議会事務局 次長 本橋 洋樹 様

【網走市の概要】

網走市はオホーツク海に面し、流氷の名所として知られる北海道北東部の都市。最寄りの女満別空港からは車で北へ約30分。市内にはJR石北本線・釧網本線が走っており、両線が乗り入れる網走駅をはじめ、桂台・呼人・北浜などの駅があり、道東～知床方面や旭川・札幌方面へ鉄道で移動することができる。路線バス・空港連絡バス・都市間高速バスに加えて、タクシーやデマンド型バスも利用可能で、2020年～2023年にかけて実証実験が実施され、市民や観光客の利便性向上を図っている。また、人手不足や高齢化に対応する自動運転バスの導入も検討中で、2027年度にレベル4無人運転の実用運行を目指している。マイカーやレンタサイクル(電動・クロス・シティタイプ)が日常・観光で広く利用されており、道幅の広い道路が整備されている。

農業では北海道内有数の畑作地帯となっており、麦類(小麦・ビール大麦)、馬鈴薯(ジャガイモ)、てん菜を中心とした大規模営農を展開しているほか、ダイコン、ナガイモ、ゴボウなどの野菜類や酪農、畜産も行っている。

代表的な景勝地として、冬に海岸を白く染める流氷、南西部にある周囲43kmを持つ網走湖、標高207mの天都山などが挙げられる。歴史的には明治期の網走監獄が有名で、現在は博物館網走監獄として公開され、当時の木造舎房などを保存し貴重な文化財となっている。

市内には公立高校が3校。

- ・総人口 31,740人(令和7年5月末日時点)
- ・世帯数 17,826世帯
- ・面積 470平方キロメートル
- ・令和7年度一般会計当初予算額 275億7,723万円

【 所 感 】

網走という全国的な知名度を誇る、特産品のブランド化への取り組みが、本市にどうつなげられるかを検討すべく今回視察しました。

共通の課題としては、農業を担う人材不足であり、若手の就労者が減っていることを上げており、本市でも同じ状況であると感じました。そこで新規就農者や若手農業者への手厚い支援体制と、地元産農産物の高付加価値化・ブランド化への積極的に取り組んでおり、新規就農者に対しては、農地取得や経営開始に伴う費用の一部を市が助成する「新規農業参入者支援事業」があり、最大5年間の経費助成が受けられます。さらに、国の「農業次世代人材投資資金」制度を活用し、年間150万円の給付を受けることができるなど、経済的な不安を軽減する支援が整っています。

本市でも農業を始めたいという声があるものの進んでいないのが実情であるからこそ、付加価値、ブランド化として進み取り組むためには、現農家の方々の協力が必要である。その中で、本市では、ブルーベリーを筆頭に、はちみつ、イチジク、シャインマスカット等の生産に取り組んではいるが、ブルーベリーとはちみつ以外は、富谷のブランドと胸を張って言えるものが少なく、大きな課題である為、ブランド化するための方策は必要である。

本市でも、網走市が課題と上げているブランドの普及力向上、加工・販売のノウハウ不足といった点を研究し、新規就労者や女性の若手農業者への継続的なサポートが必要であり、農家、行政、JA、民間企業など多様な関係機関との連携をし、マーケティングの強化をすべきであると思います。さらには、ネーミング1つで売れなかった物が売れることが多々ある為、ブランド力を確立するためには、ネーミングの重要性を研究する必要があると感じました。

政務調査報告書

会派名 開誠会

【日 時】令和7年7月8日(火) 9:30~11:00

【調査内容】北海道根室市 根室市立花咲港小学校
「インクルーシブ教育について」

【対応者】根室市議会 議長 田塚 不二男 様
根室市教育委員会 教育長 波岸 克泰 様
根室市立花咲港小学校 校長 高田 真弓 様

【根室市の概要】

根室市は日本の市で最も東に位置する港町で、「朝日にいちばん近い街」をキャッチフレーズにしている。東西に細長く太平洋に突き出た根室半島の全域と、半島の付け根辺り、北方領土の歯舞群島を市域とする。日本本土最東端の岬「納沙布岬」は、日本でいち早く日の出を拝み、北方領土も望める観光スポットとなっている。太平洋とオホーツク海に挟まれ水産業が盛んであり、特にサンマや花咲ガニなどの水揚げ量は日本一を誇る。ラムサール条約に登録された風蓮湖・春国岱など、野鳥の楽園として知られ、360種以上の渡り鳥が観察できる。歴史的には北方漁業の基地として発展し、アイヌ文化に関連するチャシ跡群なども点在している。

最寄りの空港は中標津町にある中標津空港。鉄道はJR根室本線が通り、根室駅を東端に6駅がある。公共交通の本数が少なく、市民は自家用車で移動が中心。補完するため、地域公共交通計画のもとAI・デマンドバスなど新サービス導入の準備が進行中。

インクルーシブ教育に力を入れており、花咲港小学校で導入された「イエナプラン教育」では、児童が学びの計画を自律的に立て、仲間と対話しながら学ぶスタイルを実践している。多様な背景・特性を超えて学び合う環境を整備しているほか、小中一貫教育の推進にも注力している。

市内には公立高校が1校。

- ・総人口 22,135人(令和7年5月末日時点)
- ・世帯数 12,009世帯
- ・面積 502.65平方キロメートル
- ・令和7年度一般会計当初予算額 258億4,000万円

【 所 感 】

今回の視察で、小規模校だからこそまずは実行できたインクルーシブ教育、イエナプラン教育であり、今後少子化が進み、小規模校が増えていく中で、大いに参考になる取り組みと感じました。

その参考になると感じた内容は、多様性の尊重と共生の促進である。さまざまな背景や能力を持つ子どもたちが共に学ぶことで、相手を理解し受け入れる心が育まれ、地域社会全体の絆も深まっています。そして、自分らしさを尊重される環境で学ぶことで、自信や自己肯定感が高まると感じました。これらは将来の社会参加や自己実現に大きく役に立つと思います。また、多様な学びの場を作ることで、教員も新たな指導法や支援方法を学びながら取り組んで懸命に進めたということで、教員の子どもたちへの関わり方が変わり、教育の質が向上したということで、子どもたちにおいても異なる視点から学ぶことで柔軟な思考力が育っていることに大きな成果があると感じました。

この花咲地域は、地域でしっかりと子どもたちを見守る体制があり、インクルーシブ教育を推進することで、地域全体の福祉や共生の意識が高まり、誰もが暮らしやすい地域づくりに寄与していると感じました。

根室市花咲地区では、地域の特色や文化を大切にしながら、地域の人々や自然と連携した活動を通じて、多様性を尊重し誰もが安心して学び合える環境を作っていることに、地域社会が包容力のある温かい場所へと進んでいると感じました。

本市においても、今後少子化は進みます。多様性の尊重と共生の促進という観点から花咲港小学校の取り組みは非常に参考となると思います。また、今後義務教育学校の設置も併せて検討していかなければならないフェーズに入ってきていると思います。子どもたちが笑顔で過ごせる持続可能な子どもたちの環境を、引き続き構築すべく進んでいきたいと思っています。